

令和 7 年 度 事 業 計 画 書

横浜市国際学生会館運営事業（指定管理業務）

横浜市国際学生会館は、設置条例に基づき、外国の留学生、研究者等に宿泊施設を提供するとともに、市民の国際理解の増進に寄与することを目的に国際交流等に関する事業を行います。
（指定期間：令和 5 年から 5 年間）

1 宿泊施設の提供等

(1) 宿泊施設の提供 合計 115 室（定員 135 名）

ア 入退館業務

単身室 95 室（定員 95 名）

家族室 10 室（定員 20 名）

研究者室 5 室（定員 10 名）

イ 臨時宿泊施設の提供

5 室（定員 10 名）

(2) 建物設備の維持管理

ア 日常管理・保守点検

イ 長寿命化・省エネ・IT 関係

(3) 危機管理

ア 入居者対象の防災訓練

イ 保安警備

2 自主事業

(1) 国際理解事業

ア 児童生徒国際理解事業

(ア) 留学生による出前授業

(イ) グローバル人材の育成

イ 市民文化交流事業

(ア) 国際理解講座・交流会

(イ) ホームビジット事業

(ウ) ボランティア育成及び活性化事業

(2) 地域・市域貢献事業

ア 災害対策

(ア) 津波等災害発生時における避難場所の管理運営に関する訓練

(イ) 潮田交流プラザ防災訓練

(ウ) 汐入小学校地域防災拠点の避難者への生活サポート

イ 地域イベントとの協力連携

(ア) 潮田交流プラザ秋まつり等市民に向けた事業の開催

(イ) 地域主催のイベントへの参加

(ウ) 行政や地域団体主催の事業への協力

(3) 留学生および市内外国人支援事業

ア 留学生への日本語支援

(ア) ボランティア（YISH サポート隊）の紹介

(イ) ボランティア講師による日本語学習支援

イ 就職・生活相談

(ア) 留学生の就職支援

(イ) 留学生の生活相談

(ウ) ボランティア等による日常支援

ウ 留学生会・OBOG による支援

(ア) 留学生会支援

(イ) OBOG とのネットワーク

(ウ) 留学生関係者とのネットワーキング

(4) 行政施策への協力

(5) 広報事業

ア 独自媒体を使った広報



イ 外部媒体を使った広報


令和7年度自主事業計画書


別紙




事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
ア国際理解事業 (ア)児童生徒国際理解事業  <p>母国の文化を紹介する「出前授業」</p>  <p>高校生のポスター発表会にオブザーバーとして参加して交流</p>	a 留学生による出前授業 《対象・目的・内容等》 留学生が小・中学校・義務教育学校・高等学校を訪問し、児童生徒との交流を通して国際理解を育みます。また教育委員会が実施する平和スピーチコンテストと連動したプログラムづくりも進めます。 ・パワーポイントを使った母国の文化や社会の紹介 ・子どもの遊びやゲーム、民族衣装の試着体験等 《実施時期・回数》 ・通年 約50回 b グローバル人材の育成 《対象・目的・内容等》 市内の中・高・大学生たちが地球温暖化や紛争に伴う環境、食糧、難民など世界共通の課題をテーマに留学生の母国の状況、SDGsの取り組みについて交流や英語でディスカッションする場を提供します。また、留学生と一緒に活動する経験を通して国際理解につなげる機会を作ります。 《実施時期・回数》 ・留学生とのSDGsディスカッション 年2～3回 ・ボランティア（高校生、大学生等）の受け入れ 通年	(内訳)/計 10 教材費 10
		支出（千円） (内訳)/計 300 講師謝金 270 教材費 10 交通費 10 雑費 10
ア国際理解事業 (イ)市民文化交流事業  <p>留学生との交流会(日本語)</p>  <p>留学生との交流会(英語)</p>  <p>留学生による文化講座</p>  <p>ホームビジット</p>	a 国際理解講座・交流会 《実施時期、回数》 フリートークで留学生と地域の一般市民との交流を深めるため「留学生との交流会（日本語と英語）」を企画し、実施します。 《実施時期、回数》 ・「留学生との交流会（日本語）」 1回 ・「留学生との交流会（英語）」 1～2回 ・研究発表会/交流会等 2～3回 b ホームビジット事業 《対象・目的・内容等》 留学生が一般家庭を日帰り訪問し、日本の生活習慣や家庭料理に親しんでもらうとともに、受け入れる市民にとっても留学生と過ごす経験が異文化理解につながるようなホームビジット事業を実施します。 《実施時期、回数》 ・通年 年7～8回 c ボランティア育成及び活性化事業 ボランティアのスキルアップ研修やボランティア同士の情報交換の場を提供します。ボランティアによるボランティア活動活性化事業（ボランティア主体事業）も行います。 《対象・目的・内容等》 ・ボランティアスキルアップ研修 ・情報交換会の開催 《実施時期、回数》 ・研修 年1回(下半期) ・情報交換会 年2～3回	(内訳)/計 200 市民受講料 200
		支出（千円） (内訳)/計 420 講師謝金 200 ボランティア謝金 50 交流会費 100 教材費 10 交通費 20 保険料 30 雑費 10


事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
イ地域貢献事業 (ア)災害対策  緊急放送の使い方を練習  火災消火訓練  煙体験  避難はしごの使い方  地域防災拠点開設訓練	a 津波等災害発生時における避難場所の管理運営に関する訓練 《対象・目的・内容等》 津波発生時には地域住民の津波避難施設として、また、災害発生時の帰宅困難者の一時避難場所として施設を開放することで、地域防災の一翼を担います。 ・津波等災害発生時の避難場所の運営 ・避難施設の管理運営マニュアル等の作成 ・備蓄等の補充管理 《実施時期・回数》 ・通年 b 潮田交流プラザ防災訓練 《対象・目的・内容等》 新入居者を対象に夜間の火災発生を想定した避難訓練を、レジデントアシスタント（RA）の訓練も兼ねて4月に行います。 また、防災意識を高めるため、入居者と事務室全スタッフを対象にメーリングリストを活用した安否確認の訓練を実施します。メールに加えて、LINE公式アカウントへの登録を促し、一斉に連絡できるように準備しています。 災害発生に備え、複合施設であるケアプラザの高齢者の避難介助の補助を留学生が担えるよう、三施設共同による防災訓練を行います。防災意識を高めるための啓発活動を行います。また、災害時用の備蓄食料品等の補充管理を行います。 ・避難訓練 ・消火訓練 ・避難介助の補助訓練 ・安否確認訓練 《実施時期・回数》 ・春・秋 年2回 c 汐入小学校地域防災拠点の避難者への生活サポート 《対象・目的・内容等》 地震発生後、地域防災拠点に避難された方々の生活を支えるために、留学生が荷物運搬や高齢者との語らい、子供たちのケア、外国人の通訳案内などのサポートができるよう訓練に参加します。 《実施時期・回数》 ・秋 年1回	(内訳)/計 0 0
		支出（千円）
		(内訳)/計 50 備蓄食糧品代 50


事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
イ地域貢献事業 (イ)地域イベント等への参画/参加  潮田神社祭礼  秋まつり  盆踊り  運動会	a 潮田交流プラザ秋まつりの開催 《対象・目的・内容等》 学生会館をはじめとする潮田交流プラザ3施設と、地域の5連合自治会との協働で秋まつりを開催し、プラザが地域住民の交流の拠点となるよう努めます。 ・屋台出店 ・インターナショナルカフェ出店 ・留学生によるパフォーマンス 《実施時期・回数》 ・秋 年1回	(内訳)/計 70 秋まつり売上 50 参加費 20
	b 地域主催のイベントへの参加 《対象・目的・内容等》 潮田地区に残る日本の伝統的な地域行事に留学生が参加し、地域住民と交流し、地域の活性化に貢献します。 《実施時期・回数》 ・潮田神社祭礼 6月 ・盆踊り 7月 ・地域交流会 7月 ・潮田西部地区体育祭 10月 ・支え合いパーティー 11月 ・餅つき大会 12月	支出（千円） (内訳)/計 600 食材費 300 包材費 50 クリーニング代 40 衣装代 20 交流会費 150 消耗品 20 雑費 20
	c 行政や地域団体主催の事業への参加 《対象・目的・内容等》 地域で行われる国際交流事業や防犯イベント、地域密着イベント等に、留学生が参加・参画します。 《実施時期・回数》 ・鶴見国際交流ラウンジ多言語相談スタッフの紹介 通年 ・外国人児童生徒の学習支援教室サポーターの紹介、母語支援ボランティアの紹介 通年 ・地域イベント（鶴見小野町WeTT）へ参画・協力 夏 ・護身術講座、武道始式（鶴見警察署）等 通年	


事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
ウ留学生支援事業 (ア)留学生への日本語支援  日本語レッスン	a YISHサポート隊（ボランティア）の紹介 《対象・目的・内容等》 マンツーマンでの日本語レッスンや生活のサポートを希望する留学生に、市民ボランティアを紹介します。さらに、令和4年度から始めたボランティアによる日本語を使ったイベントの取組も、引き続き、ボランティアによるグループ活動として継続します。 《実施時期・回数》 ・留学生へのボランティア紹介 通年	(内訳)/計 0 0
		支出（千円）
		(内訳)/計 370 ボランティア謝金 200 講師謝金 100 交流会費 50 雑費 20

事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
ウ留学生支援事業 （イ）就職・生活相談  就職相談会	a 留学生の就職支援 《対象・目的・内容等》 就職を希望する市内大学に通う留学生に、日本の就活スケジュール、マナー、エントリーシート、履歴書等の書き方、面接の受け方等を伝えるボランティアをマッチングして紹介します。面接練習、OBOGによる就職相談会、企業との懇談会等も行います。特に、マンツーマンの支援を充実させます。また、就職するときに留意することやビザに関するセミナーも実施します。 さらに、横浜市の経済関係機関と連携して就職支援を拡充します。 《実施時期・回数》 ・通年 b 留学生の生活相談 《対象・目的・内容等》 卒業を控えた留学生を対象に、行政書士等の協力を得て卒業後の在留資格等について相談に乗ります。 その他、生活全般に関する留学生からの相談には、スタッフ間で情報を共有し迅速に対応します。さらに、窓口スタッフの質の向上を目指し研修も開催します。 《実施時期・回数》 ・退館者を対象とした生活相談会 2-3月 ・生活相談 通年 c ボランティアによる日常生活支援 《対象・目的・内容等》 ボランティアの力をかりて、留学生が日常的に問題なく生活をできるようにサポートをします。 《実施時期・回数》 ・日常生活相談 通年	(内訳)/計 0 0
		支出（千円）
		(内訳)/計 150
		講師謝礼 50 雑費 100

事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
ウ 留学生支援事業 (ウ) 留学生会・OBOG会支援  歓迎会  鎌倉観光  餃子パーティーデー	a 留学生会支援 《対象・目的・内容等》 入居者の抱える問題や要望をすくいあげるために、レジデントアシスタント(RA)や留学生会役員と定例会を開きます。また、歓迎会、送別会のほか、留学生会が主催するスポーツ大会や料理会等の自主事業をサポートし、入居者間の親睦を図ります。 事務室スタッフが不在となる夜間や休館日には、レジデントアシスタント(RA)が夜間警備員や他の留学生会役員と協力して、事故や病気などの緊急事態に対応する体制を整えます。 《実施時期・回数》 <ul style="list-style-type: none"> ・RA及び留学生代表ミーティング 月1回 ・留学生会イベント 月1回～2回 ・RA及び留学生代表ミーティング 月1回 ・新入居者歓迎会 4月, 10月 ・退館者送別会 3月 ・留学生会自主事業 通年 ・留学生会役員による入居者サポート 通年 b OBOGとのネットワーク 《対象・目的・内容等》 学生会館OBOGが就職相談会や交流会を開催して入居者を支援する活動をサポートします。 《実施時期・回数》 <ul style="list-style-type: none"> ・OBOGによる就職相談会 年2回 	(内訳)/計 0 0
		支出（千円）
		(内訳)/計 150 就職相談会謝礼 50 入居者サポート謝礼 30 交流会費 50 雑費 20

事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
エ 行政施策への協力  横浜市 「ユースみらいカイギ」	《対象・目的・内容等》 行政が行う留学生就職支援事業や多文化共生のまちづくり事業、市内への観光客誘致の取組、ゴミ分別・3R事業の周知・普及事業等に協力します。 <ul style="list-style-type: none"> ・行政施策に関わるモニタリング協力、事業への参加等他 ・行政施策に関するアンケート調査、インタビュー等への協力 《実施時期・回数》 <ul style="list-style-type: none"> ・通年 	(内訳)/計 0 0
		支出（千円）
		(内訳)/計 0 0

事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
オ 広報事業 (ア) 独自媒体を使った広報  よこはま地球村	《対象・目的・内容等》 国際学生会館の実施する事業や入居者募集情報、横浜で学ぶ留学生の姿を、ホームページ等の独自媒体を使って発信します。毎年住んでいる留学生の紹介をします。 《実施時期・回数》 <ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま地球村」の発行 年4回 ・ホームページ(日本語、英語)の運営 通年 ・フェイスブックによる情報発信 通年 ・チラシ/ポスターによる情報提供 通年 	(内訳)/計 0 0
		支出（千円）
		(内訳)/計 490 原稿料 370 郵送料 20 ホームページ 100

事業名	対象・目的・内容・実施時期・回数等	収入（千円）
オ 広報事業 (イ)外部媒体を使った広報  地域情報誌に情報掲載	《対象・目的・内容等》 国際学生会館の実施する事業の情報を、行政の広報紙やマスコミ、ミニコミ紙等を活用して、市民に提供します。 《実施時期・回数》 ・広報よこはま鶴見区版 通年 ・タウンニュース 通年（主催・共催イベント情報） ・YOUテレビ 通年（主催・共催イベント情報） ・あぶりお（つるみ区民活動センター発行） 通年 ・全国新聞、地方新聞、地域情報誌等への投稿 通年	(内訳)/計 0
		0
		支出（千円） (内訳)/計 0